

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 7 月 27 日 (2020.7.27)

【公開番号】特開 2019-5089 (P2019-5089A)
 【公開日】平成 31 年 1 月 17 日 (2019.1.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-002
 【出願番号】特願 2017-122662 (P2017-122662)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 B

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 6 月 12 日 (2020.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抽選手段と、

ルール制御手段と、

画像表示手段を備え、

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

有利区間における遊技回数が所定回数となった場合には有利区間を終了し、

有利区間が終了した場合には、記憶手段に記憶されている所定の記憶領域の情報を初期化可能とし、

設定変更に伴い、前記記憶手段に記憶されている特定の記憶領域の情報を初期化可能とし、

前記所定の記憶領域は、前記特定の記憶領域に含まれる記憶領域であり、

有利区間では、ストップスイッチの操作態様を報知可能な所定の遊技状態となる場合を有し、

通常区間では、前記所定の遊技状態となる場合を有さず、

前記所定の遊技状態が終了する際に、遊技者の遊技へののめり込みを防止するための注意喚起に関する表示を前記画像表示手段に表示可能とし、

最小遊技時間を T 1、遊技者の遊技へののめり込みを防止するための注意喚起に関する表示を前記画像表示手段に表示している時間を T 2 としたとき、T 1 > T 2 となるように構成されている

ことを特徴とする 回胴式遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本態様に係る回胴式遊技機は、

抽選手段と、
リール制御手段と、
画像表示手段を備え、
遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、
有利区間における遊技回数が所定回数となった場合には有利区間を終了し、
有利区間が終了した場合には、記憶手段に記憶されている所定の記憶領域の情報を初期
化可能とし、
設定変更に伴い、前記記憶手段に記憶されている特定の記憶領域の情報を初期化可能と
し、
前記所定の記憶領域は、前記特定の記憶領域に含まれる記憶領域であり、
有利区間では、ストップスイッチの操作態様を報知可能な所定の遊技状態となる場合を
有し、
通常区間では、前記所定の遊技状態となる場合を有さず、
前記所定の遊技状態が終了する際に、遊技者の遊技へののめり込みを防止するための注
意喚起に関する表示を前記画像表示手段に表示可能とし、
最小遊技時間を T_1 、遊技者の遊技へののめり込みを防止するための注意喚起に関する
表示を前記画像表示手段に表示している時間を T_2 としたとき、 $T_1 > T_2$ となるように
構成されている
ことを特徴とする。

< 付記 >

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定され
ることなく実施することが可能である。

本別態様に係る回胴式遊技機は、
所定の得点を賭け設定することによって遊技が実行可能となる遊技機であって、
外部に情報を出力し、且つ、外部からの情報を入力することが可能な接続手段と、
総得点に関する情報を表示可能な総得点表示手段と
を備え、
前記接続手段によって、得点に関する情報を外部から入力可能とする
ことを特徴とする。